

KII+O:

Designers

23

24

●Designers23

素材が伝える造形のエッセンス

2023年1月27日(金) 19:00~21:00

ゲスト

秋山かおり(STUDIO BYCOLOR)、三田地博史(新工芸舎)

●Designers24

素材から広がる視点のレッスン

2023年2月18日(土) 18:00~20:00

ゲスト

小瀬古智之(擬態デザイナー)、守田篤史・和田由里子
(株式会社ペーパーパレード)

●Interviewer

木下浩佑

(MTRL / FabCafe Kyoto マーケティング&プロデュース)

Designers 23/24

素材と技術から導く、デザインのシグナル

デザインという行為は、時代背景や文化的な脈絡を色濃く映し出します。ゆえに、その時代の「素材や技術」への理解を深めることは、表現の幅を広げるだけではなく、ものごとの根源的な美しさの発見や、新たな価値を生み出すきっかけにつながるのではないのでしょうか。トークイベントDesigners23/24素材と技術から導く、デザインのシグナルでは、MTRL(マテリアル)およびFabCafe Kyotoのプロデューサー・木下浩佑さんをインタビュアーにお招きし、素材や技術の進化を起点に、デザインやものづくりの現状・未来についてお話をうかがいます。時代にあわせてデザインそのものの考え方やモノに対する美的感覚はどのように変化するかなど、日々モノに囲まれて暮らす私たちが、デザインをどのように捉えることができるのかを考えていきます。

Designersとは？

デザインに関わりながら、幅広い活動を展開する方々をゲストにお招きし、仕事の紹介やその進め方、デザインに対する考え方や今後の活動についてなどを、ゲストと馴染みの深いインタビュアーとの対話を通してひもといていくトークイベントです。

- 参加 無料
- 定員 各回50名(要申込、先着順)
- 主催 デザイン・クリエイティブセンター神戸
- 申込 ウェブサイト(<https://kiito.jp>)からお申し込みください



◆インタビュー

木下浩佑(MTRL / FabCafe Kyoto マーケティング & プロデュース)

素材を起点にものづくり企業の共創とイノベーションを支援する「MTRL(マテリアル)」と、テクノロジーとクリエイションをキーワードに多様なクリエイター・研究者・企業が集うコミュニティ拠点「FabCafe Kyoto」に立ち上げから参画。オンライン/オフラインのワークショップ運営や展示企画のプロデュースなどを通じて「化学反応が起きる場づくり」「異分野の物事を接続させるコンテキスト設計」を実践中。



◆アクセス

デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)
〒651-0082 神戸市中央区小野浜町1-4
TEL_078-325-2235 FAX_078-325-2230
E-MAIL_event@kiito.jp WEB_ <https://kiito.jp>

- ① 阪急・阪神神戸三宮駅、JR三ノ宮駅よりフラワーロードを南へ徒歩20分
- ② 国道2号線を越えた神戸税関東向かい
- ③ 神戸市営地下鉄海岸線三宮・花時計前駅より徒歩10分
- ④ ポートライナー貿易センター駅より徒歩10分 ※一時利用駐車場13台あり。

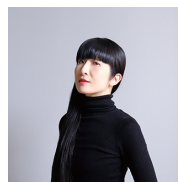


新型コロナウイルス感染拡大防止のため、内容変更や中止となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

◆Designers23 素材が伝える造形のエッセンス

最終的に必要とされる機能から逆算するのではなく、素材自体が持つ特性や魅力を起点にして生まれるプロダクトには、そのかたちである必然性と、他のもので代替することのできない独自性もたらされます。Designers23では、色や素材の持つ魅力を引き出すアプローチでデザインを手掛けるSTUDIO BYCOLORの秋山かおりさんと、京都を拠点にデジタル技術による工芸の再考に取り組む新工芸舎の三田地博史さんをお招きして開催します。素材と徹底的に向き合い、手を動かしながらあるべき姿へと導くデザイナーとともに、「素材と道具の必然性」について考えます。

- 日時 2023年1月27日(金) 19:00~21:00
- 場所 KIITO 2F ギャラリーC
- ゲスト 秋山かおり(STUDIO BYCOLOR)、三田地博史(新工芸舎)



秋山かおり(STUDIO BYCOLOR デザイナー)

色や素材の持つ力を効果的に活用するデザイン事務所STUDIO BYCOLORを主宰。2002年千葉大学工学部デザイン工学科卒業、オフィス家具メーカー勤務を経て現在に至る。iF design Award、German Design Award、DFAアジアデザイン賞、DIA Top100、グッドデザイン賞受賞、LEXUS NEW TAKUMI PROJECT2016選出等、グッドデザイン賞審査員他、千葉大学、法政大学にて非常勤講師を務める。



三田地 博史(新工芸舎 主宰 / 新工芸家)

デジタルとアナログを融合した新時代の工芸を標榜し活動する新工芸舎を主宰する。株式会社キョーエンスでデザイナーとして働いたのち、株式会社YOKOITOに加入後、2020年に新工芸舎を立ち上げる。デジタルファブリケーションが生み出す、コンピュータとアナログ世界の境界面に現代におけるモノの在り方を模索する。平成元年生まれ。

◆Designers24 素材から広がる視点のレッスン

文化・産業の発展の中で、素材はプロダクトに求められる機能や役割を叶えるためのものとして扱われるようになってきました。ですが、本来はどんな素材も単一的ではなく多様な可能性を持っているのではないのでしょうか。Designers24では、ヴィジュアルコミュニケーションを専門に素材の新たな見方を提案するデザイナーの小瀬古智之さんと、紙と印刷の新しい価値創造をテーマに、グラフィックやプロダクトなど領域を超えた活動を展開する株式会社ペーパーパレードの守田篤史さん・和田由里子さんをお招きして開催します。従来と異なる視点から、素材魅力を探りかたちを与えるクリエイターとともに、「観察と見立て」の方法や態度を探ります。

- 日時 2023年2月18日(土) 18:00~20:00
- 場所 KIITO 3F 303
- ゲスト 小瀬古智之(擬態デザイナー)
守田篤史・和田由里子(株式会社ペーパーパレード)



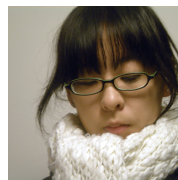
小瀬古 智之(擬態デザイナー)

専門はヴィジュアルコミュニケーション。「擬態」「静動」など視知覚のリサーチをベースにした実験的表現と役割の開発を行う。独立出版を軸とするメディアミックスプロジェクト「gitai」を通じてその成果を流通させ、国内外のアートブックシーンで発表している。2021年よりオプティカルトイ「惑星発見器」プロジェクトを通じて、デザインの視点を社会にインストールすべく活動中。メディア掲載に「タモリ倶楽部」「Brand magazine」「Hyperallergic」など。



守田 篤史(Paper Parade Creative Director / Printing Director)

多摩美術大学グラフィックデザイン科卒。デザイナー、コーヒーロースターとしてのキャリアをスタート。2014年に東京都墨田区のファクトリーブランディング・プロジェクトにおいてアートディレクションを担当し、下町の印刷・紙加工工場との協働を通じてプリンティング、プロセス技術の知見を深める。2017年よりフリーのプリンティングディレクターへ転身し、2020年に株式会社ペーパーパレード共同代表に就任。アートディレクターとプリンティングディレクターの2つの視点からの提案を得意とし、作り手とユーザーのより良い関係をつなぐモノ・コトのデザインを企てている。国内外の受賞歴多数。JAGDA会員。コーヒーブランド、キッチンスペース「1 room kitchen」主宰。



和田 由里子(Paper Parade Type Designer / Printer)

多摩美術大学グラフィックデザイン科卒。スイスパーゼル造形学校を修了。スイスで修学中、なくなりつつある活版印刷の技術をアップデートさせる作品「紙活字®(Papertype)」を開発。卒業後は都内フォントメーカーで書体デザインを手がけながら、紙活字によるタイポグラフィやアートワークの制作、ワークショップ等で工場の中でとどまっていた技術を民主化させる活動を開始。2020年に株式会社ペーパーパレード共同代表に就任。紙と印刷を中心に多様な素材、テクノロジー、メディアを掛け合わせた新しい表現の可能性を模索している。模様の入った書体設計が得意。国内外の受賞歴多数。